

授業科目 社会福祉援助技術各論ⅠB

社会福祉学科
専門

【担当教員名】 村上信		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
<p><概要></p> <p>社会福祉援助技術各論Ⅰは、個人、家族あるいは小集団に直接働きかける社会福祉における援助技術（直接援助技術）を扱う。各論ⅠBは、グループワーク（集団援助技術）の理論と技術の適用過程について学習する。</p>					
<p><学習目標></p> <p>1. グループワークの基本原理・原則について理解する。 2. グループワークの理論的發展、基本的枠組み、展開過程を理解する。 3. グループワークの基本的な技法、展開方法を習得する。</p>					
回数	授業計画又は学習の主題				SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	グループワークの意義 個人とグループを理解しグループワークの意義・定義について学ぶ				講義
2	グループワークの歴史 グループワークが成立した背景と発展の歴史、その定義について学ぶ				
3	グループワークの理論 グループワーク理論と最近の動向及び批判について学ぶ				
4	構造と機能(1) グループワークの構成要素、グループワークを展開する原理を学ぶ				
5	構造と機能(2) グループワークの構成要素のうち、特にプログラム活動を理解する				
6	原理・原則 グループワークを実践するうえの原理・原則について理解する				
7	展開過程(1) グループワークの展開過程と用いられる援助技術について理解する				
8	展開過程(2) 展開過程と用いられる援助技術について事例をもとに理解する				
9	記録と評価 グループワークにおける記録の意義と評価の方法について学ぶ				
10	適用領域(1) 多様な分野におけるグループワークの実践事例を取り上げて学ぶ。				
11	適用領域(2) 多様な分野におけるグループワークの実践事例を取り上げて学ぶ。				
12	適用領域(3) 多様な分野におけるグループワークの実践事例を取り上げて学ぶ。				
13	適用領域(4) 多様な分野におけるグループワークの実践事例を取り上げて学ぶ。				
14	まとめ 全体を通してのまとめをする				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2004年
		『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2004年
参考書		『グループワーク論』	大塚達雄ほか	ミネルヴァ書房	1986年 2200円
その他の資料		必要に応じてプリントを配布する			
【評価方法】 定期試験			【履修上の留意点】		